



# システム等標準化について

---

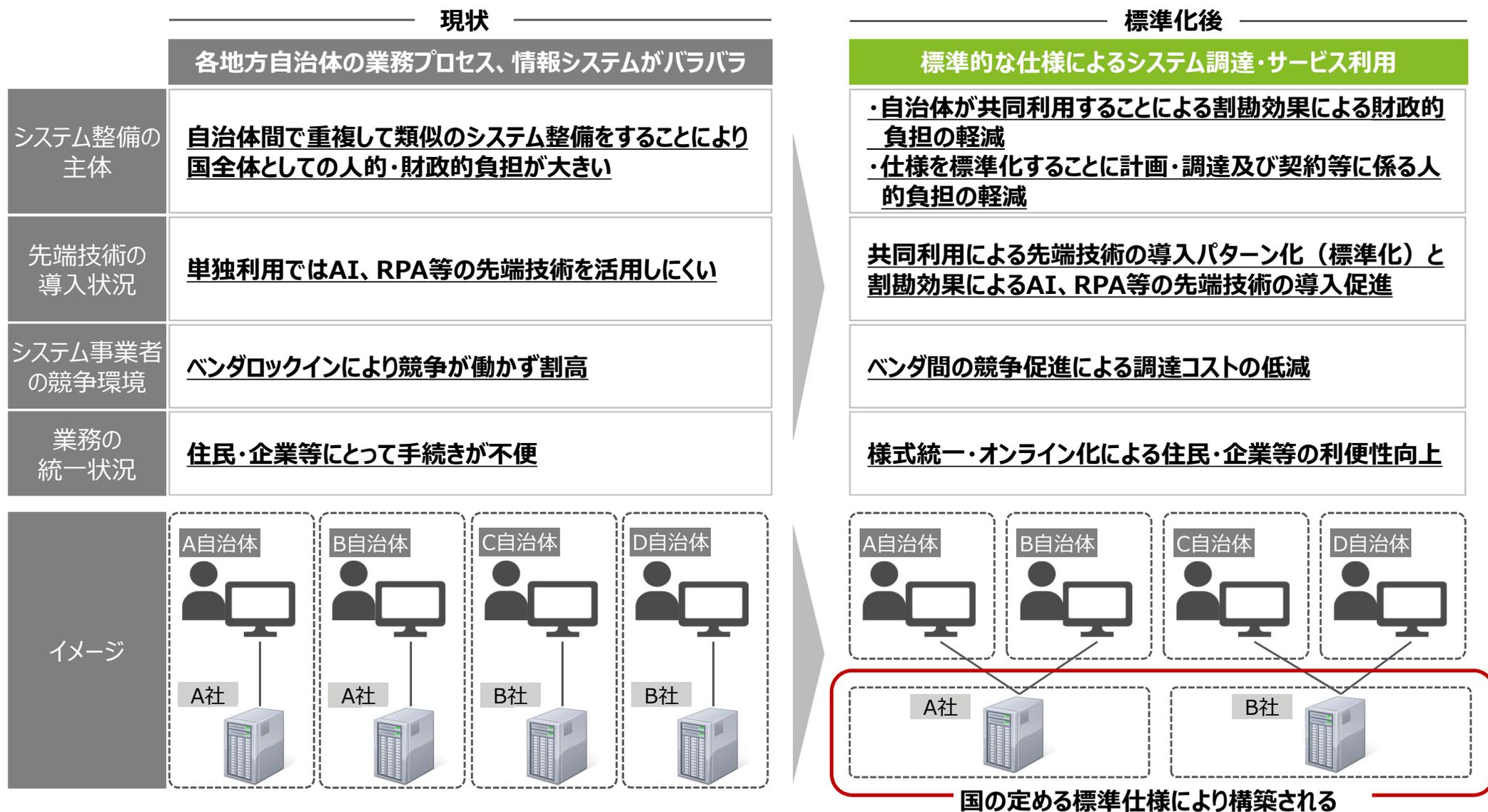
## 目次

1. 標準化とは
2. スケジュールおよび現状について
3. 課題

# 自治体情報システムの標準化・共通化とは、国が特定する業務に係る情報システムを、標準仕様に従って構築することです。国全体の財政的負担の軽減などを目的としています。

## 自治体情報システム標準化・共通化の目的

(吹田市システム等標準化方針より抜粋)



情報システム標準化対象として挙げられている20業務は、住民記録、第1グループ及び第2グループとグルーピングされ、国にて段階を追って標準化に向けた検討が行われています。

自治体情報システム標準化の対象業務

(吹田市システム等標準化方針より抜粋)

業務プロセス・情報システム標準化の検討対象業務(20業務)					
総務省	法務省	文部科学省	厚生労働省	内閣府及び厚生労働省	内閣府
住民記録	戸籍	就学	障害者福祉	子ども・子育て支援	児童手当
印鑑登録			介護保険		
固定資産税			国民健康保険		
個人住民税			国民年金		
法人住民税			後期高齢者医療		
軽自動車税			生活保護		
選挙人名簿管理			健康管理		
戸籍附票			児童扶養手当		

**凡例**

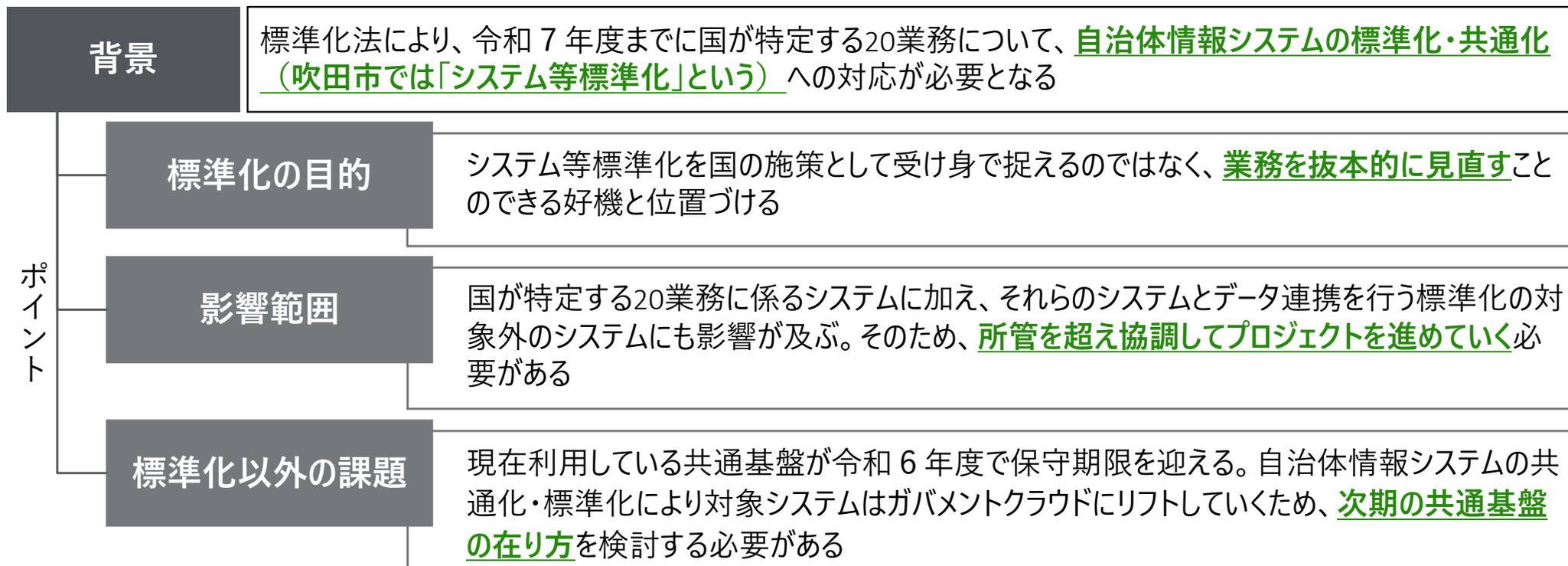
第1グループ

第2グループ

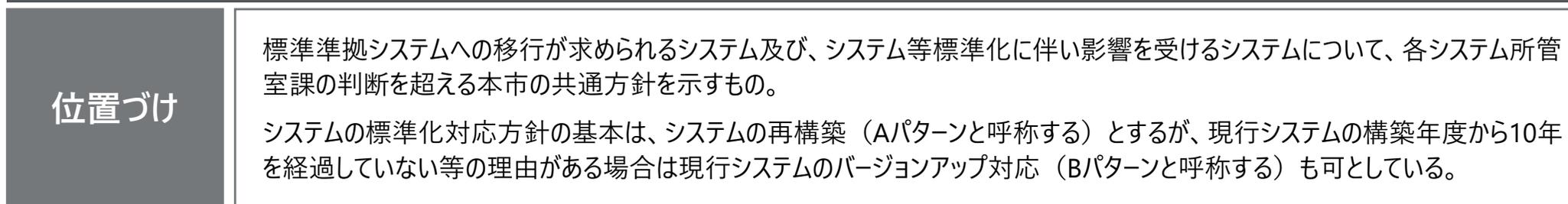
# 本市では、自治体情報システムの標準化・共通化への対応に向けて、各システム所管室課の判断を超える本市の共通方針を示す「システム等標準化方針」を作成しました。

## システム等標準化方針の位置づけ

(吹田市システム等標準化検討会議資料より抜粋)



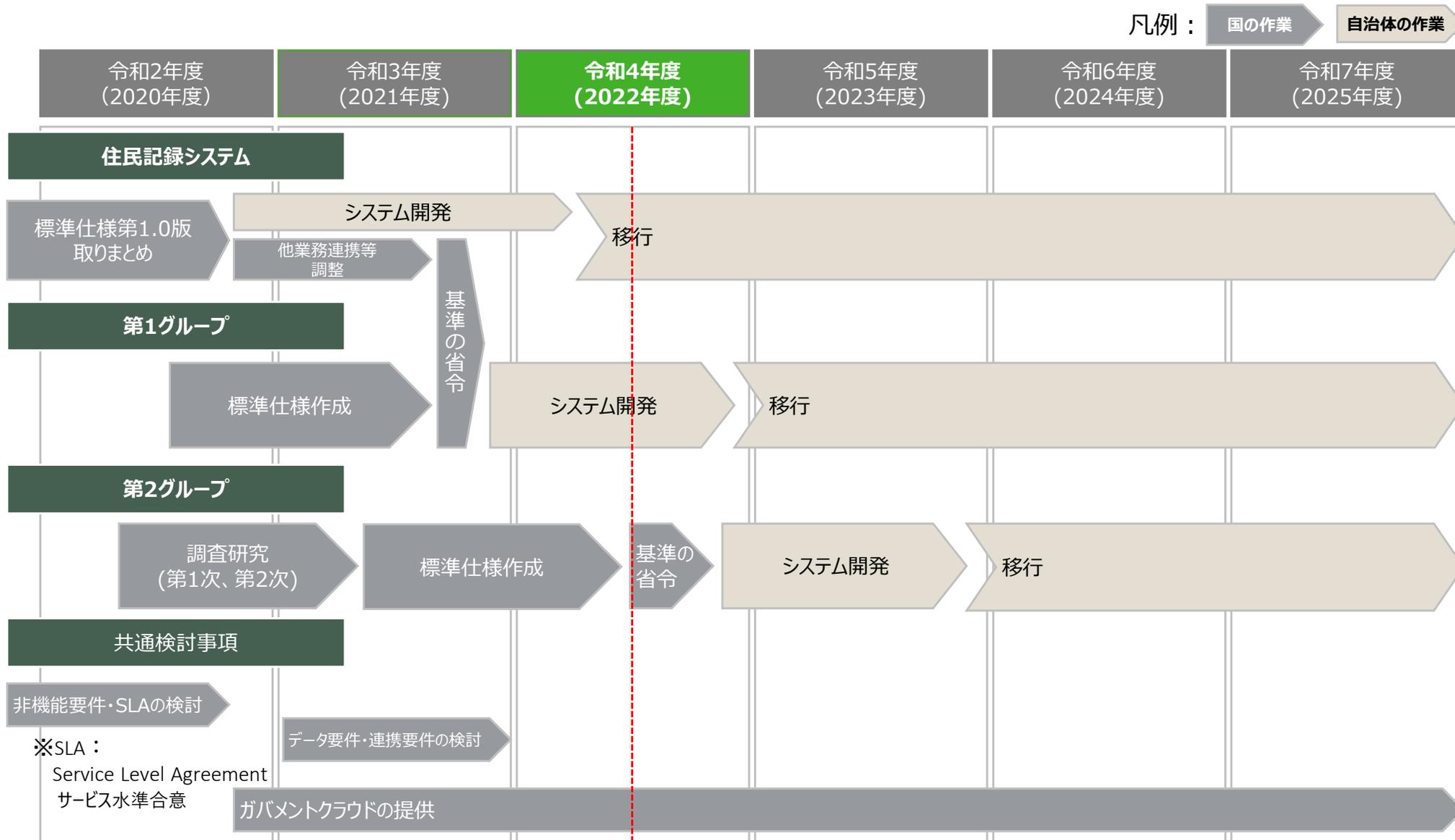
## システム等標準化方針の策定



国で標準仕様をまとめ、それを受けて自治体ではシステム開発などを行い、現行システムから標準仕様に対応したシステムに移行します。

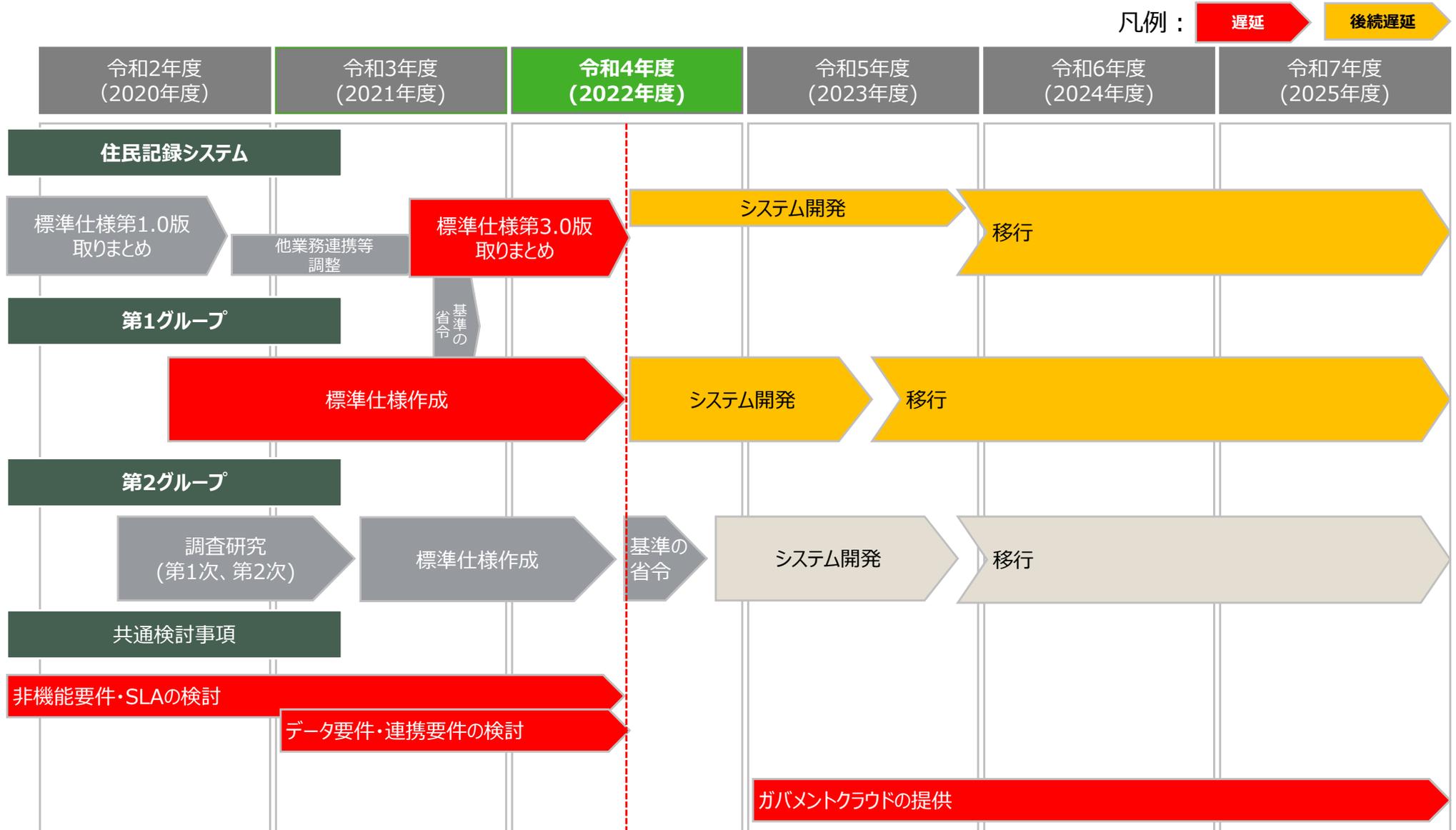
自治体情報システム標準化のスケジュール概要 (R2.9 総務省作成)

(吹田市システム等標準化方針より抜粋)



現時点で総務省作成のスケジュールからは年単位の遅れがみられ、特に全てのシステムの進捗に影響を与えるガバメントクラウドの提供に2年の遅れが発生しています。

自治体情報システム標準化のスケジュール（R4.10現在）



住記・税は令和6年12月、その他システムは令和8年3月に標準準拠システムへ移行予定です。標準化に向けて現行共通基盤を改修し、その後次期共通基盤を再構築予定です。国のスケジュールに影響を受けない部分については、先行して作業を進めます。

吹田市移行スケジュール

(吹田市システム等標準化方針より抜粋)



令和4年8月31日に国から多くの資料・仕様書が公表されています。本市は各資料・仕様書の確認及び影響分析を実施中であり、国への意見照会にも積極的に参加しています。

システム等標準化に係る国の動向と本市全体の取組状況

国の資料・仕様書		国の動向	本市の取組状況
20業務の標準仕様書	住記	令和4年8月31日に第3.0版を公表	各所管室課及び現行システムの事業者で、改版及び新規に公表された仕様書の内容を確認中
	第1グループ	令和4年8月31日に第2.0版を公表 ※就学を除く	
	第2グループ	令和4年8月31日に第1.0版を公表	
データ要件・連携要件標準仕様書		令和4年8月31日に第1.0版を公表	情報政策室で、改版及び新規に公表された仕様書の内容を確認し、現行システムの機能や運用への影響を分析中
非機能要件の標準		令和4年8月31日に第1.1版を公表	
共通機能標準仕様書		令和4年8月31日に第1.0版を公表	
標準化基本方針		第1.0版の公表が令和4年8月31日予定から <b>1か月半程度公表が遅延</b> ※第1.0版(案)を令和4年8月31日に各自治体へ展開	情報政策室で、国から展開された第1.0版(案)の内容を確認し、意見照会を令和4年9月16日に国へ提出
ガバメントクラウドの利用に関する基準		第1.0版の公表が令和4年8月31日予定から <b>1か月半程度公表が遅延</b> ※第1.0版(案)を令和4年8月31日に各自治体へ展開	

# 住民記録関連、税務、国民健康保険及び共通基盤システム等について、システム等標準化に関連する来年度予算を要求する予定です。

## 各所管室課の予算要求の状況

(移行パターンは令和4年3月末時点回答)

所管室課	対象業務	グループ	パターン	移行予定時期	令和5年度予算要求
市民課	住民記録、印鑑登録、戸籍附票	その他/2	A	令和6年度	あり ※コンサル、構築
	国民年金	2	A		あり ※コンサル
	戸籍	その他	A	令和7年度	なし
資産税課、市民税課、税制課、納税課、債権管理課	固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税	1	A	令和6年度	あり ※コンサル、構築
学務課	就学	1	A	令和6年度	あり ※コンサル
国民健康保険課	国民健康保険	2	A	令和7年度	あり ※保守期限により令和6年度に標準準拠ではない後継システムへバージョンアップが必要
	後期高齢者医療	2	A	令和7年度	なし
選挙管理委員会事務局	選挙人名簿管理	2	A		
生活福祉室	生活保護	2	調整中		
子育て給付課	児童手当、児童扶養手当	2	A		
保育幼稚園室	子ども・子育て支援	2	A		
高齢福祉室	介護保険	1	B		
成人保健課、母子保健課、地域保健課	健康管理	2	調整中		
障がい福祉室	障害者福祉	1	A		
情報政策室	なし ※但し共通基盤への影響あり	-	-	令和6年度(改修) 令和7年度(再構築)	あり ※コンサル

## 今後対応すべき課題として、主に以下の3点が挙げられます。

課題内容	対象業務
<p>現行システムのベンダーがシステムの標準化対応を行わないことを決定しており、新たに標準化対応したシステムの構築ベンダーを探さなければならない。全国的に同時進行の取組につき、供給市場の枯渇が懸念される。</p>	<p>国民年金 選挙人名簿管理</p>
<p>市独自業務を多くカスタマイズ対応している現行システムと標準準拠システムには多くのGapが生じることが想定されており、標準準拠システムと同時に市独自業務を遂行するための補助システム及びツールの導入が必要となることが想定される。</p>	<p>障害者福祉 健康管理</p>
<p>国から提示される各システムの仕様書に未確定要素が多く含まれる、およびガバメントクラウド利用の料金体系が示されていない状況であり、ベンダーへ見積依頼をおこなっても未確定要素への対応を盛り込んだ見積となってしまう、見積額が高くなる。</p>	<p>全体</p>



吹田市  
Suita City

End of the documents.